

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 山口 泰祐

- I 開催年月日 令和 4 年 12 月 14 日（水）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 11 時 19 分
- III 出席委員等〔出席委員〕◎山口 泰祐 ○高岡 宏和 梅島 清香
嶋川 武秀 中川加津代 坂林 永喜
曾田 康司 狩野 安郎
（上田委員は、新型コロナウイルス感染症のみなし陽性
による自宅療養のため、欠席）
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕※坂林 永喜議長は委員として出席
〔副議長〕酒井 善広（公務のため欠席）
〔説明員〕別紙名簿のとおり（薮下病院長は公務のため欠席、寺
井文化振興課長は病気療養のため欠席）
〔委員外議員〕新開 広恵
〔事務局職員〕西本 幸夫 高嶋 史恵 吉本 昌史
〔傍聴者〕なし

IV 審査の概要

- 1 福祉保健部長より、高額介護サービス費の支給について、月途中で資格を取得した方への支給に漏れが生じていたことに対して陳謝があった。また、対象者に速やかに追加支給を実施することや、事務作業手順の見直し等により再発防止に努める旨の説明があった。

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【高額介護サービス費の支給について】

- 追加支給の対象期間以前に、同様の事態が発生していた可能性はあるのか。
- △ 介護保険システムについては、制度創設以来、同じシステムを使用していることから、過去にも発生していた可能性はあると思われる。
- 対象期間以前の支給分についての対応は検討しているのか。

- △ 介護保険法では、給付に係る時効は2年となっており、現時点では調査することは考えていない。今後、同様の事態が発生しないよう改善に努めたい。
- 時効がある旨も丁寧に説明しながら、市民の理解を得られるよう努めていただきたい。(要望)
- 介護保険システムへのデータの登録作業は手動であり、その手順を徹底することだが、システム自体の再発防止策は検討しているのか。
- △ 手入力以外でシステム処理が可能となるよう、開発元に要望していきたいと考えている。
- 徹底して再発防止に努めていただきたい。(要望)

2 付託議案について

- 議案第 84 号 令和 4 年度高岡市一般会計補正予算（第 5 号）のうち本委員会所管分
- 議案第 85 号 令和 4 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 87 号 令和 4 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 88 号 令和 4 年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 89 号 令和 4 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 104 号 指定管理者の指定について（高岡市伏木児童館）
- 議案第 105 号 指定管理者の指定について（高岡市野村児童センター）
- 議案第 106 号 指定管理者の指定について（高岡市戸出児童センター）
- 議案第 107 号 指定管理者の指定について（高岡市西部児童センター）
- 議案第 108 号 指定管理者の指定について（高岡市急患医療センター）
- 議案第 109 号 指定管理者の指定について（高岡市伏木コミュニティセンター）
- 議案第 110 号 指定管理者の指定について（高岡市戸出コミュニティセンター）

及び

- 議案第 111 号 指定管理者の指定について（高岡市中田コミュニティセンター）

以上、予算議案 5 件及びその他議案 8 件の計 13 件について、審査の結果、全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。 〉

【議案第 84 号のうち、通園バス安全装置整備費補助金について】

- 補助金が助成される背景と、対象となる施設数や、整備の具体的な内容は。
- △ 静岡県牧之原市の認定子ども園で、通園バスに子どもが置き去りにされ亡くなるという痛ましい事件が発生し、置き去りの防止を徹底するため、国において令和 5 年 4 月から安全装置の装備が義務付けられる。本市で通園バスを利用しているのは 15 施設で、きずな子ども発達支援センターのほか、私立の保育所が 2 施設、認定子ども園が 9 施設、幼稚園が 3 施設ある。現在、国が策定中の「安全装置の仕様に関するガイドライン」が示され次第、その内容に応じたものを速やかに設置するよう指導していきたい。

【議案第 84 号のうち、とやまっ子子育て支援サービス普及促進事業費について】

- 県の事業を受けての補正だと思われるが、増額となった理由は。
- △ とやまっ子子育て応援券の有効期限は3年間となっている。この数年間はコロナ禍で外出控えや買い物控えがあったが、令和4年度はその反動で、応援券の有効期限が切れる前に使用しようという動きが出てきたと考えられ、その実績を踏まえて増額となった。
- どのような内容について利用が多かったのか。
- △ 絵本の購入について、これまでは対象となる絵本が指定されていたが、指定が解除されたことで購入実績が増加した。
- 産前産後の世話等の家事・育児サービスについての利用状況は。
- △ 徐々に増加している。詳細なデータを持ち合わせていないため、委員会後に改めて回答する。
- 応援券の対象サービスには、非常にニーズの高い内容がメニューとして盛り込まれている。県の事業ではあるが、市内の利用状況の実態をしっかりと把握し、きめ細かい子育て支援に繋がるようにしていただきたい。また、県の受け売りではなく本市に合った独自の子育て支援メニューも開発していただきたいが、見解は。
- △ 大変重要な観点だと思うため、今後も市民のニーズを踏まえた事業実施について検討してまいりたい。

【議案第 84 号のうち、債務負担行為の児童館・児童センター管理業務委託について】

- 児童館や児童センターは、どのように活用されているのか。また、各施設の利用状況は。
- △ 児童の健全育成に関する機能や、児童の体力増進を図ることを目的した指導機能を有する施設となっている。各施設の利用状況にはばらつきがあるが、年間 6,000 人から 12,000 人程度の利用がある。
- 具体的に、各施設ではどのような活動を実施しているのか。
- △ 児童に遊びや体力づくりを指導するとともに、高齢者等、地域の方々との交流を通して健全な育成を図っている。また、子育てサロンとして未就園児に遊び場を提供するとともに、育児に関する相談指導や情報提供を行っている。
- コロナ禍前と比較しての利用状況は。
- △ 年間利用者数は、コロナ禍前と比較すると、一施設あたり平均 5,000 人程度減少している。

【議案第 84 号のうち、債務負担行為の一般廃棄物処理等業務委託について】

- 燃料高騰の影響は表れているのか。
- △ 委託料については、廃棄物の量を過去数年間の状況から推計し、その結果を勘案して予算化しており、燃料高騰も加味しているが概ね金額に大きな変化はない。
- 委託する業者は複数か。
- △ ペットボトルや金属等、廃棄物の種類によって、それぞれ複数の業者に委託をしている。

3 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔生活環境文化部〕

- (1) 環境省「太陽光発電設備設置に係る第三者所有モデル活用促進支援委託事業」における本市施設等の設置可能性調査結果について
- (2) 高岡市地球温暖化対策実行計画（案）のパブリックコメントの実施について
- (3) 市役所窓口でのキャッシュレス決済の取り組みについて

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【本市施設等への太陽光発電設備の設置について】

- 太陽光パネルの耐用年数は、概ね何年なのか。
- △ 約 30 年と言われている。
- PPA を実施するにあたり、想定している契約期間は。
- △ 環境省の事業として、事業者との契約期間は 20 年間とするよう決められている。
- 事業者を選定するにあたり、どのような条件で公募するのか。
- △ 公募の条件については現時点では決まっていない。環境省と話を進めているところであり、国の規定に合うように進めていきたい。まずは今回の調査結果を精査し量的・価格的な観点も踏まえて公募に移りたいと考えている。
- 日数がない中で進めることとなるため、よく精査してから契約に臨んでいただきたい。（要望）
- 今回調査した 54 施設のうち不可という結果が出た 28 施設について、採算面で難しいとのことであるが、どのようなシミュレーションを行ったのか。
- △ 契約期間は 20 年間とすることから、施設が 20 年後も存続していることを前提として調査をした。採算面で不可となったのは、電気の自家消費が少なく単価が非常に高くなってしまい、設置場所の日照の時間・量が確保できない、施設の老朽化等により維持できないなど、様々なことを総合的に判断した上での結果であり、残る 26 施設は PPA にて設置可能と判断された。
- 調査対象の施設数は、今後増やしていく可能性はあるのか。
- △ あくまでモデル事業として短期間で調査したものであり、今後は今回の調査結果を参考に、本市としても増やしていかなければと考えている。
- 今回調査した施設には小中学校や保育園も含まれているが、公共施設再編計画との整合性はとれているのか。現在、学校の再編に取り組んでおり、保育園についても地域性を踏まえて整理していくという方向性が打ち出されている。それらを加味した進め方となっているのか。
- △ 小中学校や保育園も含め、比較的新しい施設について調査したところであり、建物だけでなく、グラウンド等の空きスペースや、自転車小屋等の上部のスペースも検討対象に含めている。なお、調査にあたっては、各施設を所管する担当課にて検

討対象となる施設を選定した。

- 本市はカーボンニュートラルについて先行していると思っている。積極的に進めていただきたい。(要望)

【カーボンニュートラル実現に向けた懇談会について】

- カーボンニュートラル実現に向けた懇談会は、どのように立ち上がり、これまでに何回議論を重ねてきたのか。また、どのような構成員で成り立っているのか。
- △ 令和4年度に提示したカーボンニュートラル推進ロードマップにおいて、4つの事業における二酸化炭素の排出量を示したが、それらを下げることがあることから、それぞれの事業に関係し、かつ市内に拠点や本社を有する4事業者の出席のもと懇談会を開始した。これまでに3回実施してきたが、3回目からはエネルギー関係の事業者を含む4事業者に新たに加わっていただいている。令和5年2月には4回目の実施を予定している。

【市役所窓口でのキャッシュレス決済の取り組みについて】

- 決済手数料が必要となるようだが、窓口を利用する市民の負担は増加するのか。それともこれまでと同様か。
- △ あくまで収納の手数料であり、窓口では規定の金額を支払っていただく。決済手数料は本市が負担することとなるが、最近は現金を持ち歩かない市民もおられることから、利便性を考慮してキャッシュレス決済に取り組むこととした。

〔消防本部〕

- 。歳末消防特別警戒・消防出初式・消防艇出初式について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

4 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

5 その他

次回の常任委員会の開催について

令和5年2月2日（木）午後1時に開催することが報告された。

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（28 名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克	市民病院長	藪 下 和 久
生活環境文化部次長	須 田 稔 彦	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
市民生活課長	松 本 武 司	総務課長	上 森 智 美
環境政策課長	室 谷 智	医事課長	島 田 輝
共創まちづくり課長	大 野 洋 靖		
共創まちづくり課 多文化共生室長	車 忠 宏	消防長	浦 島 章 浩
男女平等・共同参画課長	寺 口 昌 代	消防本部次長	山 口 喜 代 治
市民課長	徳 市 直 之	消防本部次長 総務課長	有 澤 智 文
文化振興課長	寺 井 知 恵	消防本部参事 予防課長	奈良岡 由多可
		警防課長	神 谷 勝 也
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	通信指令課長	礪 波 鉄 夫
福祉保健部次長	山 本 真 弘		
福祉保健部参事	長 田 由 美 子		
社会福祉課長	中 保 哲 憲		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	野 村 岳 人		
高齢介護課長	関 原 総 臣		
保険年金課長	芹 山 奈 緒 樹		
健康増進課長	赤 阪 典 子		